

緩和ケア病棟に関わる情報提供

～歩けなくなって、たべられなくなって、
しゃべれなくなった時に、何をどうしよう～

1月26日(日)

予約不要
参加自由

お話：14:00～16:00 会場：本堂

講師：平野 博医師

ひとはやがて、老化・病気によって、食欲が低下して食べられなくなります。足腰が弱ってトイレに行けなくなります。そして寝たきりになっていきます。オムツを換えてくれる人が居なければ、布団の上で尿や大便にまみれての生活になります。介護人が居ても、自宅で介護してもらうには限界があります。

近年、2人に1人は癌にかかります。3人に1人は癌で死ぬ時代と言われています。明日？来週？治らない癌と言われたら、あなたはどうされますか？何もできなくなった私は、生きている価値がない？のでしょうか。それとも、苦しむところを若い人たちにさせる役目なのでしょうか。長年、緩和ケア病棟の現場で人々の最期を看取られてきた平野医師にビハラー病棟で旅立つ患者さんの様子をお伺いします。



◆平野 博先生の御略歴

1953(S28)年 生まれ
1978(S53)年 三重大学卒業 その後
産婦人科業務に従事
1996(H8)年 長岡西病院 ビハラー★病棟に勤務
2006(H18)年 松阪市民病院に勤務
2008(H20)年 緩和ケア病棟開設
2019(H31)年 定年退職
2021(R1)年 あそかビハラー病院非常勤
ビハラー★=ビハラー(vihāra)は、サンスクリット語で精舎、僧院、寺院あるいは安住・休養の場所を意味し、現代では末期患者に対する仏教ホスピス、または苦痛緩和と癒しの支援活動を指す。

ターミナルケア私の覚え書き
ビハラー病棟から
平野 博著 北越出版
(2004年10月1日発売)



◆参加費無料・予約なし。どなたでも自由に参加できます。初めての方も大歓迎です！

主催：観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または [川西市岡本寺](#) [検索](#)



岡本寺QR